

| | | | | | |
|------|------------|-------|--------|-------|----|
| 科目群 | 科目区分等 | 科 目 名 | 担当教員名 | 対象学年次 | 学期 |
| 幼免科目 | 2 単位 教職 | 教育心理学 | 成田 小百合 | 2 年次 | 秋 |

| | |
|--------------------------|--|
| 授業のキーワード | 発達、学習、動機づけ、測定・評価、集団、パーソナリティ、適応 |
| 授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能 | 学ぶ存在としての人を心理学の視点から理解するのが教育心理学である。教育過程に於ける人間の心の動きを理解し、教育活動を効果的に進めるための学習メカニズムや教育活動に影響する心理学的特性について学習する。 |
| 履修のアドバイス・ 前提科目等 | 親への支援や小学校との連携等保育現場での現在の大きな関心事にも触れます。実習等の実践場面でも、本学習を生かしていただきたい。 |

授 業 展 開

| | テーマ | 内 容 | | テーマ | 内 容 |
|-------|--|----------------|--------|---------------|-----------------------------------|
| 第 1 講 | 教育心理学とは？ 教育と発達（1） | 遺伝と環境 | 第 9 講 | パーソナリティと適応（1） | パーソナリティとは？ |
| 第 2 講 | 教育と発達（2） | 成熟と学習 | 第 10 講 | パーソナリティと適応（2） | 適応とは？ |
| 第 3 講 | 学習 | 学習の原理 | 第 11 講 | クラス集団 | クラス集団に与える影響 等 |
| 第 4 講 | 意欲と動機づけ | やる気はどこからくるのか？ | 第 12 講 | 子どもを支える（1） | 不登校 |
| 第 5 講 | 知能と学力 | 知能とは？ 知能の構造等 | 第 13 講 | 子どもを支える（2） | いじめ |
| 第 6 講 | 教授－学習過程 | 有意味受容学習 発見学習 等 | 第 14 講 | 子どもを支える（3） | 発達障がい |
| 第 7 講 | 教育評価 | 評価の意義 等 | 第 15 講 | 期末テスト | |
| 第 8 講 | 教育測定と統計 | 教育測定の例 尺度 | | 評 価 方 法 | 授業態度 50% 課題レポート 20% テスト 30% |
| | 備 考 (関連する資格・試験等) | | | | |
| | 使用する教科書（必ず購入してください） | | | 参 考 文 献 | |
| | 高村和代・安藤史高・小平英志「保育のためのやさしい教育心理学」ナカニシヤ出版 | | | | |